

# 廃棄物処理業界の

## 人材確保・育成を目指して

④



### 全産廃連の取り組み(4)

#### 森谷賢専務理事に聞く(下)



——モデル研修会の特徴は。

敬は。

「まずは収集運搬、中間処理、最終処分と業態別に分けて行ったことだ。また産廃業界は労働災害の発生率が高い業界で、職員が安心して作業できるようにすることが大切なので安全衛生の講義を設けた。地域社会や排出事業者からの信頼確保に向けた対応などについても盛り込んだ。業態別講義ではそれぞれの業態で実際に業を行っている人を講師に迎え、より現場に即した講義となった。

参加者にアンケートも実施したので、その結果などもここに今年度はより具体事例を盛り込むなど内容を見直して新たな

研修の実施につなげていきたい」

——アンケートの結果を見て思うことは。

「収集運搬についてはもっと高度なことを知り

社で取り組んでいない方法については理解しづらいという声もあった。中間処理については、今後の研修では処理方法ごと

に工夫する必要もあると

の3つあるいは中間処理を区分して5つ程の分野における資格制度を検討していくが、将来はマニフェスト管理、契約書管理など事務系の職員の資

格も検討していく必要がある。また、L1、L2、L3レベルの資格も考えて行かなければならないだろう」

望は。

「資格制度を作っても、周りが認められなければ意味がない。資格の確かさ、信頼性をいかに業界外に理解してもらう

——今後のスケジュール感は。

「研修制度については、本格実施には今年度含め2年必要だと思っ

## 今年度5カ所程度で研修、資格制度2年後開始目指す

たいという人もいた。収集運搬では車を運転し、現場で積み込み・積み下ろしをしている人が多数いるので、L1向けの研修も必要ではないかと思

——資格制度の目的や概要は。

「当面はL2レベルを対象にし、業務遂行に必要な能力・知識を有しているかを排出事業者等に客観的に示す資格制度を創設する。当面収集運搬、中間処理、最終処分

——新しい研修の延長線に資格制度があるのか。

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら

「資格を得るに値する能力・知識があるかを判断するためには、検定試験などが必要だろう。その一方で人材育成の研修は、今は備わっていない能力・知識を身に着けるために行うものになる。資格制度と直接結びつくものと、個々のレベルアップを図るための研修は分けて考えなければなら